

# ノムラ・グローバルトレンド (アジア通貨コース) 年2回決算型

## 償還運用報告書(全体版)

第30期（償還日2026年3月23日）

作成対象期間（2025年9月25日～2026年3月23日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
このたび、約款の規定にもとづき償還決算を行ない、償還価額が決定いたしました。  
ここに設定日から償還までの運用経過をご報告いたしますとともに、ご愛顧に対し厚く御礼申し上げます。

#### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）		
信託期間	2011年4月26日から2026年3月23日までです。		
運用方針	主として、円建ての外国投資信託であるマネージド・フューチャーズ・ディバースィファイド・ファンドアジア通貨クラス受益証券および円建ての国内籍の投資信託である野村マネー マザーファンド受益証券への投資を通じて、世界各国の債券先物取引、株価指数先物取引、金利先物取引、商品先物取引および為替予約取引等を実質的な主要取引対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。各受益証券への投資比率は、通常の状態においては、マネージド・フューチャーズ・ディバースィファイド・ファンドアジア通貨クラス受益証券への投資を中心としますが、特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。		
主な投資対象	ノムラ・グローバルトレンド (アジア通貨コース) 年2回決算型	マネージド・フューチャーズ・ディバースィファイド・ファンドアジア通貨クラス受益証券および野村マネー マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。	
	マネージド・フューチャーズ・ディバースィファイド・ファンド アジア通貨クラス 野村マネー マザーファンド	世界各国の債券先物取引、株価指数先物取引、金利先物取引、商品先物取引および為替予約取引等を主要取引対象とします。	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	ノムラ・グローバルトレンド (アジア通貨コース) 年2回決算型	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への直接投資は行ないません。	
	野村マネー マザーファンド	株式への投資は行ないません。	
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。		

### 野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

●サポートダイヤル

**0120-753104**（受付時間）営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<https://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額		債組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率	純資産総額
		税金分配	騰落率				
	円 銭	円	%	%	%	%	百万円
26期(2024年3月25日)	27,436	10	4.7	0.1	—	98.9	1,012
27期(2024年9月24日)	24,568	10	△10.4	0.1	—	98.9	763
28期(2025年3月24日)	23,049	10	△6.1	0.1	—	98.6	681
29期(2025年9月24日)	22,821	10	△0.9	0.1	—	98.7	662
(償還時)	(償還価額)						
30期(2026年3月23日)	29,828.85	—	30.7	—	—	—	802

\* 基準価額の騰落率は分配金込み。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\* 値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークなどはありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	標準価額		債組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率
		騰落率	騰落率			
(期首)	円 銭	%	%	%	%	%
2025年9月24日	22,821	—	0.1	—	98.7	
9月末	23,254	1.9	0.1	—	98.7	
10月末	25,301	10.9	0.1	—	98.5	
11月末	25,617	12.3	0.1	—	98.8	
12月末	27,375	20.0	0.1	—	98.9	
2026年1月末	28,731	25.9	0.1	—	98.8	
2月末	29,370	28.7	0.1	—	99.1	
(償還時)	(償還価額)					
2026年3月23日	29,828.85	30.7	—	—	—	—

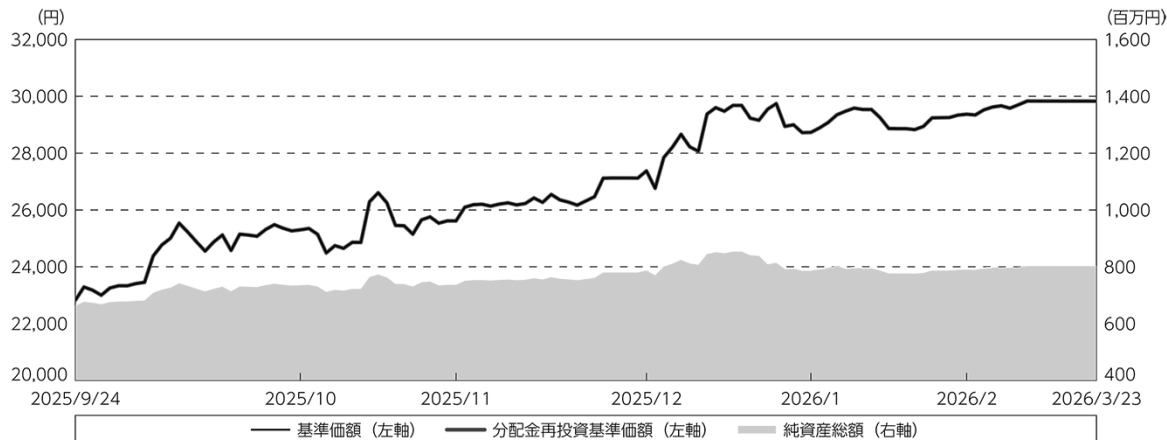
\* 騰落率は期首比です。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



期 首： 22,821円

期末(償還日)：29,828円85銭 (既払分配金(税込み)：－円)

騰 落 率： 30.7% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2025年9月24日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

実質的に投資している世界各国の取引所に上場されている様々な先物取引等からのキャピタルゲイン(またはロス)(価格変動損益)

為替取引によるコスト(金利差相当分の費用)またはプレミアム(金利差相当分の収益)

円/アジア通貨の為替変動

### ○投資環境

株式市場は、FRB(米連邦準備制度理事会)による利下げ期待の高まりを背景に総じて堅調に推移したものの、イラン情勢を巡る地政学的リスクの高まりを受けて軟化し、当作成期においては米国株式市場などが下落しました。

コモディティ市場では、FRBの金融緩和姿勢を背景に金や銀などの貴金属が上昇したほか、地政学的リスクの高まりを受けて原油などエネルギー関連商品も上昇しました。

債券市場では、原油価格の上昇を受けたインフレ懸念の強まりからFRBの利下げ観測が後退し、米国金利は上昇（債券価格は下落）しました。

為替市場では、米国金利の上昇に加え、有事局面における米ドル買いの動きも相まって、米ドル指数は上昇しました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### [ノムラ・グローバルトレンド（アジア通貨コース）年2回決算型]

[マネージド・フューチャーズ・ディバーシファイド・ファンドーアジア通貨クラス] および [野村マネー マザーファンド] の受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする [マネージド・フューチャーズ・ディバーシファイド・ファンドーアジア通貨クラス] の受益証券への投資比率を概ね90%以上に維持しました。

### [マネージド・フューチャーズ・ディバーシファイド・ファンドーアジア通貨クラス]

主に世界各国の取引所に上場されている様々な先物取引等に投資するとともに、外国為替予約取引、為替先渡取引、直物為替先渡取引等を活用しました。

- ・ 共通ポートフォリオにおける各セクターの代表的なロング・ポジション（買い持ち残高）、ショート・ポジション（売り持ち残高）の寄与は以下のようになりました。

【通貨】 日本円／米ドルのショートなどがプラスとなり、通貨セクターとしてはプラスの影響

【金属】 金のロングなどがプラスとなり、金属セクターとしてはプラスの影響

【株式】 KOSPI指数のロングなどがプラスとなり、株式セクターとしてはプラスの影響

【債券】 日本国債のショートなどがプラスとなり、債券セクターとしてはプラスの影響

【農産物】 大豆ミールのショートなどがマイナスとなり、農産物セクターとしてはマイナスの影響

【短期金利】 ユーリボー（欧州銀行間取引金利）のショートなどがマイナスとなり、短期金利セクターとしてはマイナスの影響

【エネルギー】 天然ガスのショートなどがマイナスとなり、エネルギーセクターとしてはマイナスの影響

- ・ 当作成期におけるファンドの騰落率はプラスとなりました。ファンド全体では、金のロングなどから主に収益を計上した一方、天然ガスのショートなどから主に損失を計上しました。

### [野村マネー マザーファンド]

残存1年以内の公社債等（現先取引も含む）やコール・ローン等で運用を行なうことで、安定した収益と流動性の確保を図りました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークなどはありません。

## ◎分配金

償還のため分配は行ないませんでした。

## ◎設定来の運用経過

＜設定来の基準価額の推移＞



設定時：10,000円

償還時：29,828円85銭

設定来お支払いした分配金：1万口当たり240円

## ○基準価額の主な変動要因

実質的に投資している世界各国の取引所に上場されている様々な先物取引等からのキャピタルゲイン（またはロス）（価格変動損益）

為替取引によるコスト（金利差相当分の費用）またはプレミアム（金利差相当分の収益）

円／アジア通貨の為替変動

※店頭デリバティブ取引に関する国際的な規制強化について

店頭デリバティブ取引等の金融取引に関して、国際的に規制の強化が行なわれており、ファンドが実質的に活用する当該金融取引が当該規制強化等の影響をうけ、当該金融取引を行なうための担保として現金等を提供する必要がある場合があります。その場合、追加的に現金等を保有するため、ファンドの実質的な主要投資対象の組入比率が下がり、高位に組入れた場合に期待される投資効果が得られないことが想定されます。また、その結果として、実質的な主要投資対象を高位に組入れた場合と比べてファンドのパフォーマンスが悪化する場合があります。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

（2025年9月25日～2026年3月23日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 137	% 0.515	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	（ 39 ）	（ 0.146 ）	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	（ 94 ）	（ 0.353 ）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	（ 4 ）	（ 0.016 ）	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	（ 0 ）	（ 0.002 ）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	137	0.517	
期中の平均基準価額は、26,608円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

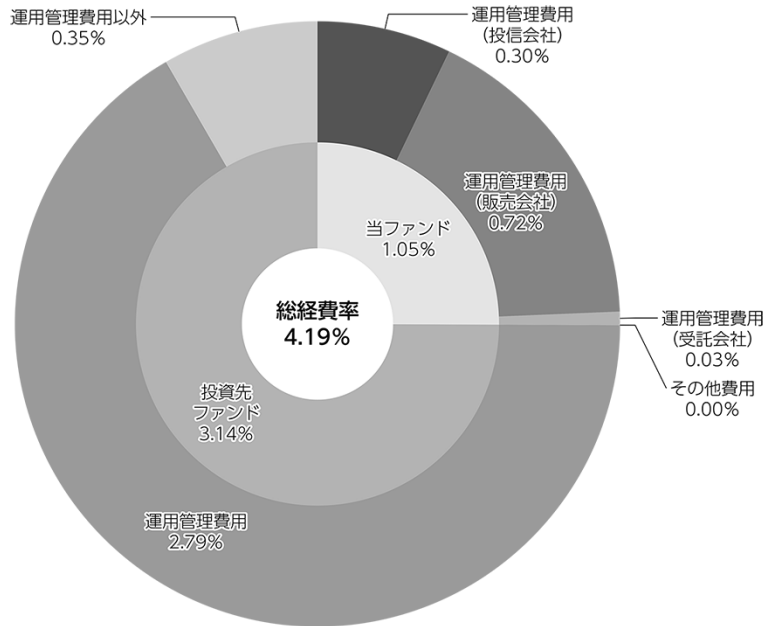
\* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は4.19%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	4.19
①当ファンドの費用の比率	1.05
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	2.79
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.35

- (注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。  
 (注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。  
 (注) 各比率は、年率換算した値です。  
 (注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券等（マザーファンドを除く。）です。  
 (注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。  
 (注) 当ファンドのその他費用には、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用が含まれます。  
 (注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。  
 (注) 投資先ファンドの運用管理費用には、運用実績に応じた成功報酬が含まれます。  
 (注) 投資先ファンドの運用管理費用については年間最低報酬額が適用される場合があるため、純資産総額によっては目論見書等に記載のある報酬率を上回る場合があります。  
 (注) 投資先ファンドの純資産総額等によっては、投資先ファンドの運用管理費用以外の比率が高まる場合があります。  
 (注) 投資先ファンドの費用は、交付運用報告書作成時点において、委託会社から知りうる情報をもとに作成しています。  
 (注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2025年9月25日～2026年3月23日)

## 投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	マネージド・フューチャーズ・ディバシファイド・ファンド-アジア通貨クラス	4,568	50,513	9,187 (65,593)	102,623 (795,708)

\*金額は受け渡し代金。

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*（ ）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
	野村マネー マザーファンド	—	—	983	1,010

\*単位未満は切り捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2025年9月25日～2026年3月23日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2026年3月23日現在)

2026年3月23日現在、有価証券等の組入れはございません。

## ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		期首(前期末)	
		口数	金額
	マネージド・フューチャーズ・ディバシファイド・ファンド-アジア通貨クラス		70,212
	合 計		70,212

## 親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	
		口	数
野村マネー マザーファンド			千口 983

\*単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2026年3月23日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 806,409	% 100.0
投資信託財産総額	806,409	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

## ○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2026年3月23日現在)

項 目	償 還 時
(A) 資産	806,409,209 円
コール・ローン等	806,392,877
未収利息	16,332
(B) 負債	3,977,309
未払信託報酬	3,964,845
その他未払費用	12,464
(C) 純資産総額(A-B)	802,431,900
元本	269,012,016
償還差益金	533,419,884
(D) 受益権総口数	269,012,016口
1万口当たり償還価額(C/D)	29,828円85銭

(注) 期首元本額は290,443,041円、期中追加設定元本額は65,115円、期中一部解約元本額は21,496,140円、1口当たり純資産額は2.982885円です。

## ○損益の状況 (2025年9月25日～2026年3月23日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	10,758,849 円
受取配当金	10,520,777
受取利息	238,072
(B) 有価証券売買損益	181,620,748
売買益	192,736,628
売買損	△ 11,115,880
(C) 信託報酬等	△ 3,977,309
(D) 当期損益金(A+B+C)	188,402,288
(E) 前期繰越損益金	213,300,147
(F) 追加信託差損益金	131,717,449
(配当等相当額)	( 147,212,294)
(売買損益相当額)	(△ 15,494,845)
償還差益金(D+E+F)	533,419,884

\*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## ○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2011年4月26日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2026年3月23日			資産総額	806,409,209円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	3,977,309円	
				純資産総額	802,431,900円	
受益権口数	7,670,851,100口	269,012,016口	△7,401,839,084口	受益権口数	269,012,016口	
元本額	7,670,851,100円	269,012,016円	△7,401,839,084円	1万円当たり償還金	29,828円85銭	
最近10年の状況						
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万円当たり分配金		
				金額	分配率	
第10期	944,174,221円	1,368,671,021円	14,496円	10円	0.1%	
第11期	932,561,608	1,128,034,543	12,096	10	0.1	
第12期	768,125,001	985,543,855	12,831	10	0.1	
第13期	720,876,850	976,084,950	13,540	10	0.1	
第14期	458,329,101	599,626,271	13,083	10	0.1	
第15期	426,904,637	539,860,117	12,646	10	0.1	
第16期	422,267,066	587,023,083	13,902	10	0.1	
第17期	409,853,317	621,078,013	15,154	10	0.1	
第18期	399,743,660	651,930,208	16,309	10	0.1	
第19期	370,063,473	571,266,657	15,437	10	0.1	
第20期	351,071,249	661,197,416	18,834	10	0.1	
第21期	346,331,370	660,093,014	19,060	10	0.1	
第22期	347,921,994	781,409,452	22,459	10	0.1	
第23期	321,316,937	881,163,362	27,423	10	0.1	
第24期	381,351,577	844,572,189	22,147	10	0.1	
第25期	370,256,303	970,527,432	26,212	10	0.1	
第26期	369,147,081	1,012,796,868	27,436	10	0.1	
第27期	310,679,685	763,270,699	24,568	10	0.1	
第28期	295,694,700	681,547,587	23,049	10	0.1	
第29期	290,443,041	662,805,582	22,821	10	0.1	

## ○償還金のお知らせ

1万円当たり償還金（税込み）	29,828円85銭
----------------	------------

## ○お知らせ

該当事項はございません。